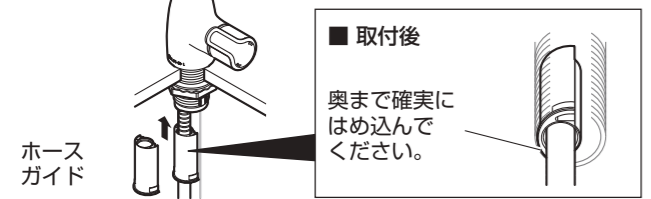


注意

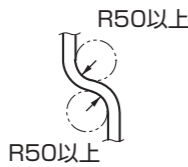
ホースガイドの抜け注意
 施工時にホースガイドが抜けている場合は、本体足部にはめ込んでください。
 シャワーヘッドがスムーズに引き出せないことがあります。



注意

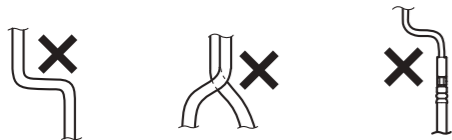
銅管・ホース施工上の注意点

- 銅管は曲げないでください。
- ホースの最小曲げ半径50mm。
- 銅管・ホースの過度な屈曲、過度な引っ張り、銅管・ホース同士の不要な接触は避けてください。



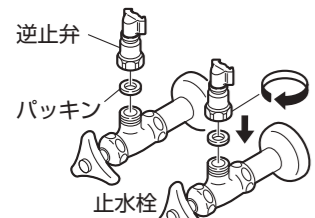
摩耗による外傷で銅管・ホースの性能劣化より漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

また、銅管・ホースが折れた状態でご使用された場合、十分な流量を得られないおそれがあります。



5 逆止弁(寒冷地用は接続金具)を取付けます。

カウンター表面から給水・給湯ホース先端までの長さの確保を行ってから逆止弁を止水栓などに固定してください。



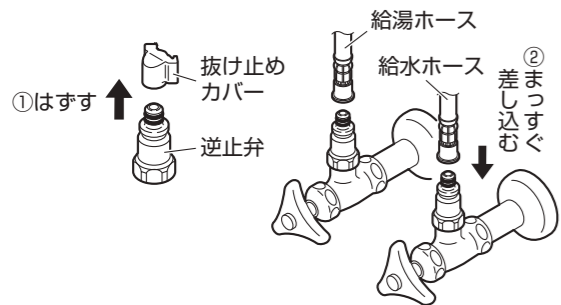
※寒冷地用は逆止弁が接続金具になります。

注意

- 緩みがないように確実に締めてください。逆止弁が確実に締付けられていないと、水が漏れることがあります。
- パッキンが入っていることを確認してください。パッキンが入っていないと水漏れのおそれがあります。

6 逆止弁(寒冷地用は接続金具)と給水・給湯ホースを接続します。 ※寒冷地用は逆止弁が接続金具になります。

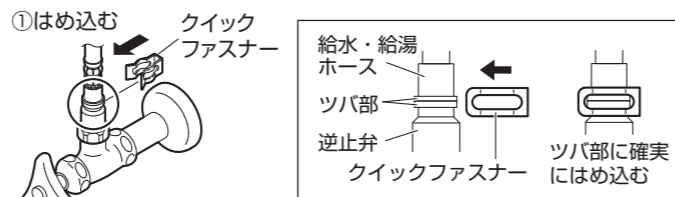
(1) 逆止弁の抜け止めカバーをはずし、給水・給湯ホースと逆止弁のツバ部がすき間なく合うまで差し込んでください。



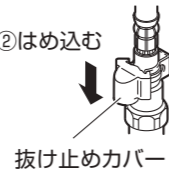
注意

- 逆止弁のオーリングの傷、ゴミかみに注意してください。
- 抜け止めカバーは、クイックファスナー接続の際に必要なので、なくさないようにしてください。

(2) クイックファスナーを給水・給湯ホースと逆止弁のツバ部に確実ににはめ込んでください。次に抜け止めカバーをクイックファスナーに確実ににはめ込んでください。



はめ込む

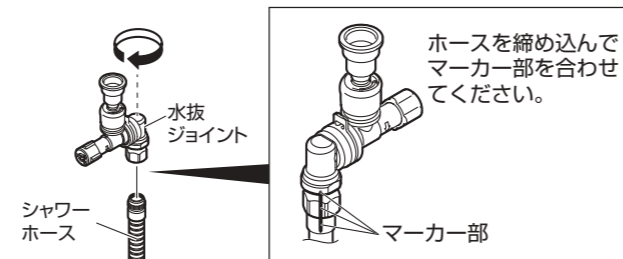


注意

- クイックファスナーは、ケガのないよう取り扱いに注意してください。
- クイックファスナーは、広げないでください。
- 給水・給湯ホースを上向きに引っ張って抜けないことを確認してください。

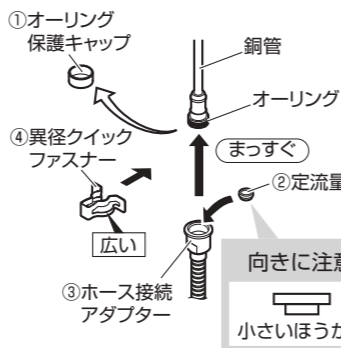
7 シャワーホースを接続します。

(1) 【寒冷地用のみ】
 水抜ジョイントにシャワーホースを接続します。



(2) 銅管にホース接続アダプター(寒冷地用は水抜ジョイント)を接続します。

- ① オーリング保護キャップを取はずしてください。
- ② ホース接続アダプター(寒冷地用は水抜ジョイント)に定流量弁を入れてください。
- ③ 銅管にまっすぐホース接続アダプター(寒冷地用は水抜きジョイント)を差し込んでください。
- ④ 異径クイックファスナーを取付けてください。



寒冷地用



注意
 ねじ変換アダプターをゆるめないように注意してください。

注意

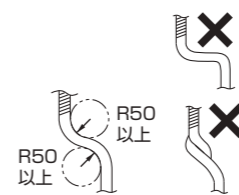
- 異径クイックファスナーは、広いほうを下にして取付けてください。
- 異径クイックファスナーは、ケガのないよう取り扱いに注意してください。広げないでください。
- 異径クイックファスナーは、広げないでください。
- シャワーホースが確実に接続されていることを確認してください。

注意

シャワーホース施工上の注意点

- シャワーホースの最小曲げR50mm。過度な屈曲、過度な引っ張り、ねじりは避けてください。

摩耗による外傷でシャワーホースの性能劣化により漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



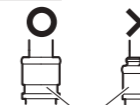
寒冷地用

水抜操作ハンドル



Close 方向
 水抜操作ハンドルをClose方向に空回りするまで回してください。

注意



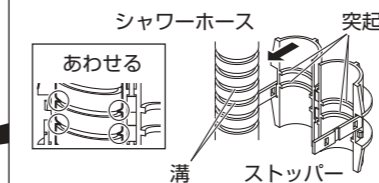
ロック部

ロック部が確実に上がっている事を確認してください。通水するとニップル部から抜けるおそれがあります。

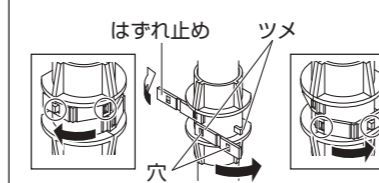
(3) シャワーホースにストッパーを取付けます。

※ストッパーは、シャワーホースの引き出し長さを設定するためのものです。

1 ストッパーの突起とシャワーホースの溝をあわせて、はさみ込みます。

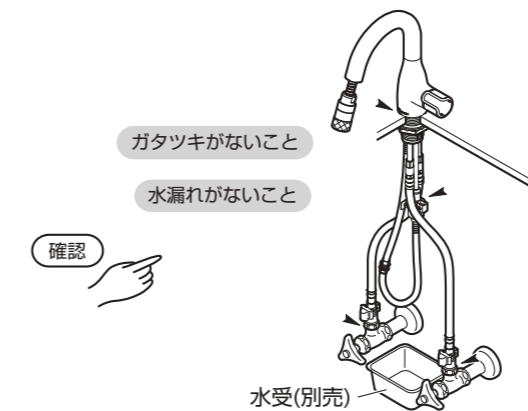


2 はずれ止めの穴にツメを入れます。(右側2箇所、左側2箇所)



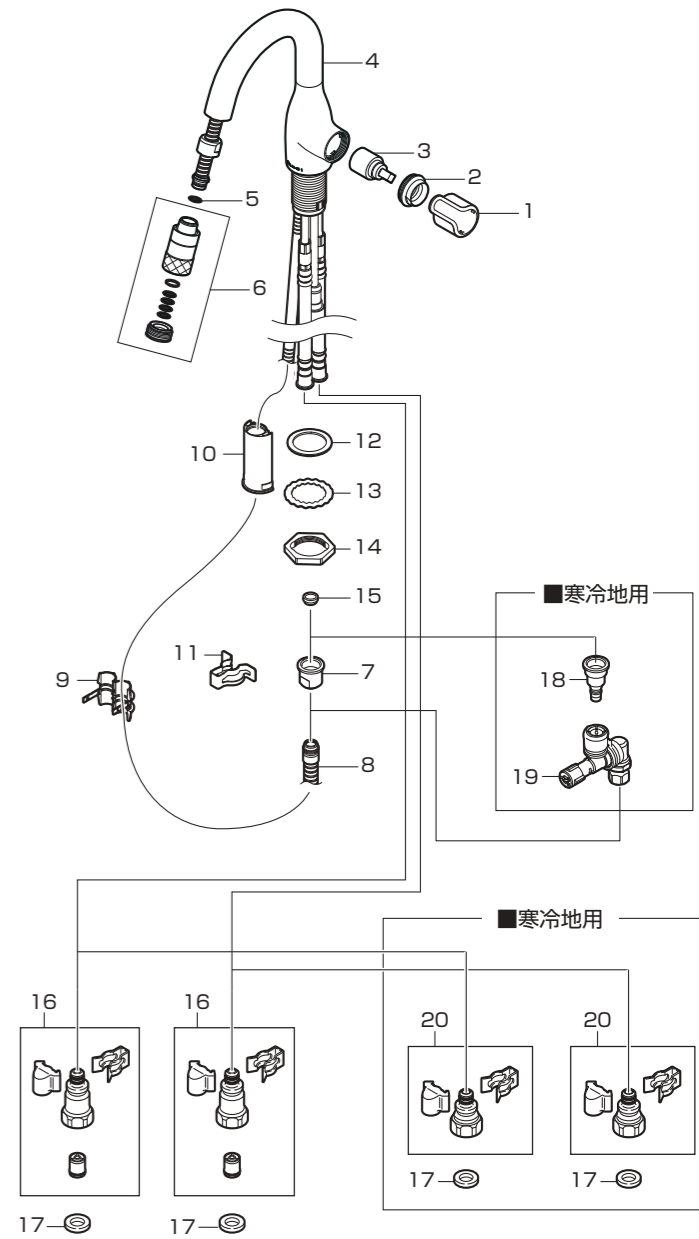
8 施工後、下記項目を点検してください。

- ・各部にガタツキがないことを確認する。
- ・止水栓を全開にして各部に水漏れがないことを確認する。



こんなときは 本製品の構造

本製品の構造を表したイラストです。構造をご理解いただくのをご使用ください。※部品として注文いただける単位のものではありません。



一般用

1. レバー
2. カバー
3. シングルカートリッジ
4. 吐水口本体
5. ストレーナ
6. シャワーヘッド(切替)
7. ホース接続アダプター
8. シャワーホース
9. ストッパー
10. ホースガイド
11. 異径クイックファスナー
12. パッキン
13. 菊座金
14. ロックナット
15. 定流量弁
16. 逆止弁
17. パッキン

寒冷地用

18. 接続金具
19. 水抜きジョイント
20. 接続金具

SANEI 株式会社

〒537-0023 大阪市東成区玉津1丁目12番29号
 お問い合わせ先 ☎ 0120-06-9721
 受付時間 9:00~17:00(土日祝除く)

シングルプレー混合栓(洗髪用)

K370CEJV型
K370CEJK型

※上記の品番は、代表品番です。品番を確認する場合は、取扱説明書 保証とアフターサービスを参照してください。

取扱説明書

- ご使用前にこの説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも読める所に必ず保管してください。
- 保証書にお買上げ(お取付け)年月日、販売店(工事店)名の記入のない場合はお買上げ(お取付け)の販売店(工事店)に申し出ていただくか、レシート又は領収書を貼付してください。

本製品について 各部の名称

※ 各部の名称については、施工説明書「各部の名称」を参照ください。

ご使用について ご使用に関する安全上のご注意

●ここに示した注意事項は、重大な結果(傷害・物損)に結びつくおそれがあります。安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号の説明

- ⚠ **警告** ……「取扱いを誤った場合に、死亡または重症を負うおそれがあります。」
- ⚠ **注意** ……「取扱いを誤った場合に、軽傷または物損のおそれがあります。」
- 🚫 「禁止」
- 🛑 「指示を守る」
- 🚫 「接触禁止」
- 🚫 「分解禁止」

警告

- 🚫 ベースメーカーなど電子医療機器を吐水口本体先端の磁石に近付けないでください。医療機器の正常な動作を損ない重篤な危険を招くおそれがあります。
- 🚫 小さいお子様だけのご使用は、避けてください。やけど・けがをするおそれがあります。
- 🚫 分解は、保守・点検の決められた項目以外はしないでください。器具が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れで家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- 🛑 (給湯器の設定温度について) 給湯温度は最高85℃まででお使いください。85℃より高温でご使用になると器具の寿命が短くなります。なお、誤操作などによるやけど防止のため、42～60℃給湯をおすすめします。
- 🚫 吐水口には高温の湯(60℃より高温)を通さないでください。給湯温度が60℃より高温の場合は、吐水温度が60℃以下になるように調節してください。シャワーヘッドが破損して、やけどをするおそれがあります。安全のため、適温での使用をおすすめします。
- 🚫 高温の湯をお使いのときは、シャワーホースや湯側配管に直接肌を触れないでください。シャワーホースは高温になっているのでやけどをするおそれがあります。
- 🛑 お使いになる前に、レバーの位置を確かめて吐水してください。湯側で吐水すると、高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。湯を使うときは、水から吐水して、その後ゆっくり好みの温度に調節してください。
- 🛑 他所の水栓の使用などにより水圧変動が起こり、湯の使用中に湯温が急上昇することがありますのでご注意ください。やけどのおそれがあります。
- 🛑 湯をお使いの後は、しばらく水を流してから止水してください。次に使用する際、水栓内に残っている高温の湯が出て、やけどをするおそれがあります。

警告

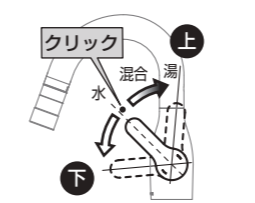
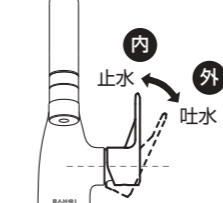
- 🛑 高温の湯をお使いの後は必ずレバーを水側に戻してください。次に使用する際、いきなり高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。
- 🛑 定期的に、配管周りの水漏れや、ガタツキがないか確認してください。劣化・摩耗などで部品が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- 🚫 (寒冷地用の場合) 水抜部は水抜き以外の目的で開けないでください。水抜部をいきなり開けると高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

注意

- 🛑 使い始めの水がおう場合は、しばらく流してからお使いください。しばらく使われないと、水栓内の水は消毒用の塩素が少なくなり、におうことがあります。
- 🚫 製品に強い力や衝撃を与えないでください。故障や漏水の原因になります。
- 🚫 (樹脂メッキ付部品の場合) 樹脂メッキ部品には、下記のことを行わないでください。
 - 鋭利な物を当てる
 - 衝撃を与える
 - 落とす
 メッキの表面が割れ、ケガをするおそれがあります。万が一メッキの表面が割れた場合は、早めに新しい部品に交換してください。
- 🛑 レバーは、ゆっくり動かしてください。レバーを急に閉めると、配管に衝撃が加わり、水漏れで家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- 🚫 吐水口先端に重いものを下げたり、力をかけて回したりしないでください。摩耗、変形などでパッキンの寿命が短くなり、吐水時に接合部から微量の水がにじみ出るおそれがあります。
- 🚫 シャワーホースをねじったり、無理に曲げないでください。シャワーホースが破損し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- 🛑 水受(別売)がシャワーホースの真下にあるか確認してください。万が一、水がシャワーホースを伝わって落ちた場合、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- 🚫 シャワーホースを引き出してお使いになるときは、水をはった洗いおけなどにシャワーヘッドやシャワーホースを浸けないでください。汚水が器具に逆流したり、水がシャワーホースを伝わって落ち、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- 🛑 凍結のおそれがある場合は、凍結予防を確実に実施してください。凍結破損で水漏れし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。凍結による破損は、保証期間内でも有料修理となります。
- 🛑 (寒冷地用の場合) 凍結が予想される際は、配管と水栓の水抜き操作を同時に行ってください。凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- 🚫 解氷機やアースを水栓に通電しないでください。水栓が発熱で破損し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- 🛑 長期間使用しない時は、止水栓または配管中の元栓を閉めてください。水漏れなどの事故の原因になります。


ご使用について 吐水・止水・温度調節

レバーで吐水・止水・温度調節ができます。

温度調節	吐水・止水
レバーを クリックより下にまわす → 水 クリックより上にまわす → 次第に温度が上がる	レバーを外側にたおす → 吐水 レバーを内側にたおす → 止水
	
エコになるしくみ 上記位置にクリックを設けることで、中央位置で上げた際に湯が出たり、給湯器が着火するのを防ぎます。	レバーを外側にたおすほど水量が多くなります。 ※吐水中に音がする場合は、止水栓をしぼって水量を調節してください。

温度調節が難しいときは？

- 給湯温度を下げる。


給湯 85℃	給湯 60℃
運転 入/切	運転 入/切
ふろ 自動	ふろ 自動
優先	優先
- 水側の止水栓をしぼる。

高温の湯が出ないときは？

レバーを湯側にまわしても高温の湯が出ないときは、給湯機(給湯リモコンなど)の給湯温度を42～60℃に設定した後、水栓側のレバーを湯側にまわしてください。

給湯 40℃	給湯 60℃
運転 入/切	運転 入/切
ふろ 自動	ふろ 自動
優先	優先

注意
高温の湯を使用した後は、給湯リモコンとレバーで適温に戻してしばらく水を流してください。

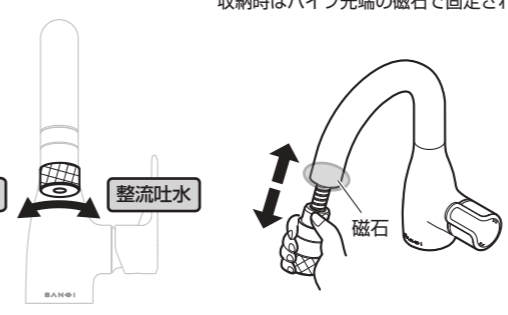
(注) 水温の高い夏場で吐水量を少なくして使うと瞬間式給湯機の場合、着火しないことがあります。この場合には、水栓側のレバーを全開に(吐水量を多く)するか、給湯機の温度設定を下げてください。

ご使用について シャワーの使用法

シャワーヘッドのハンドルを回して、整流吐水・シャワー吐水に切替えができます。

■整流吐水… 切替レバーを右にまわす。 ■シャワー吐水… 切替レバーを左にまわす。

シャワーヘッドは引き出せます。収納時はパイプ先端の磁石で固定されます。



注意
シャワー使用後に水滴がしばらく落ちる場合、通常はシャワー板の表面張力によりシャワーヘッド内に留まった残留水で、問題ありません。(振動などの気圧変化で表面張力が弱くなり、滞留水がポタポタと流れ出ることがあります。)いつもポタポタ出ているのは、閉め方が不十分か、止水部の故障です。

※残留水を抜きたい場合は、シャワーヘッドをよく振る

日頃のお手入れ 汚れの拭き取り


製品についた汚れを放置しておくと、汚れが落ちにくくなる場合があります。快適にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。

- 柔らかい布で水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。
- 汚れが目立つときは、中性洗剤を柔らかい布にふくませて拭き取った後水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。

注意

- 中性洗剤以外は使用しないでください。
- お手入れする際は、次のものは絶対に使用しないでください。
 - ・酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類
 - ※特に酸性洗剤はメッキを侵します。
 - ・ベンジン・シンナー・ラッカー
 - ・アルコールなどの溶剤や油類
 - ・クレンジャーなどの粒子の粗い洗剤
 - ・ナイロンたわし・メラミンフォームなど製品の割れや変色変質の原因となります。
- レバー部に水をかけないでください。レバー部より洗剤などが浸入すると、レバー動作が重たくなるおそれがあります。布などを使って拭き上げてください。

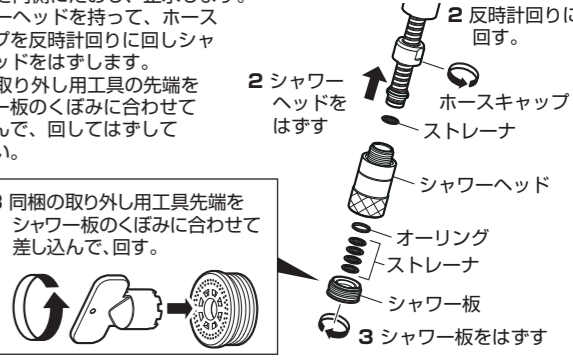
洗剤・薬品が製品に付着した場合は、すぐにきれいに拭き取ってください。製品の割れや変色変質の原因となります。

🚫 **すぐ拭く** 


日頃のお手入れ ストレーナ・吐水口の掃除

吐水口の汚れを放置しておくと、十分な機能を発揮できない場合があります。快適・衛生的にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。(近所で水道工事があったり、長期間使用し湯水の出が悪くなった場合にも、汚れの点検・お手入れをおすすめします。)

- レバーを内側にたおし、止水します。
- シャワーヘッドを持って、ホースキャップを反時計回りに回しシャワーヘッドをはずします。
- 同梱の取り外し用工具の先端をシャワー板のくぼみに合わせて差し込んで、回してはずしてください。



- ハブラシなどでストレーナ・シャワー板を掃除します。



掃除後
部品を逆の手順で取付けます。

注意

- ストレーナパッキン、またはパッキンが入っていることを確認してください。
- ストレーナパッキン、またはパッキンの傷、ゴミかみに注意してください。水漏れの原因になります。
- ストレーナパッキンの向きに注意してください。
- 緩みがないように確実に締めてください。確実に締付けられていないと、水漏れの原因になります。


再使用时
はずした部品が確実に閉まっているか確認してください。

凍結予防について 一般用の場合

一般用でも凍結のおそれがある場合は、次の処置によって凍結を予防できる場合があります。

- 水栓より少量の水を出してください。
- 配管部などに保温材を巻いてください。
- 屋内の窓を閉めるなどして水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。

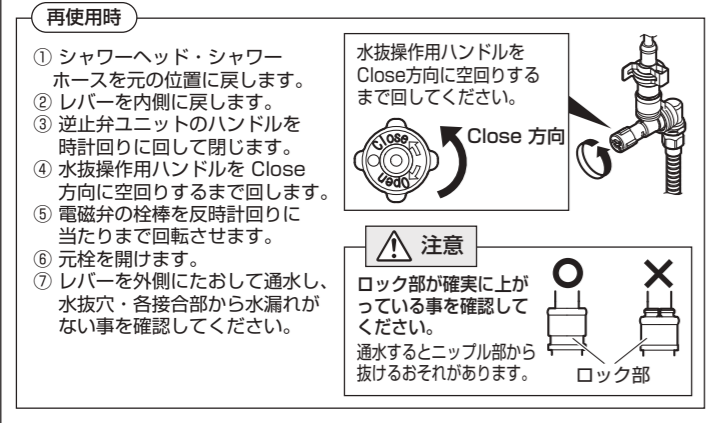
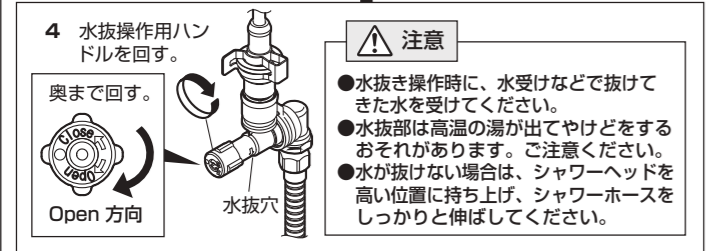
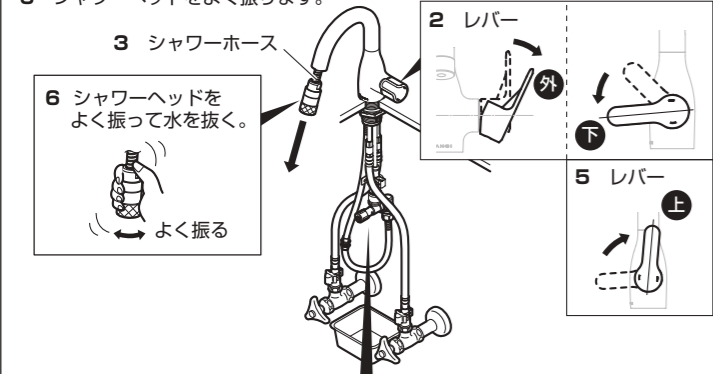
※凍結による破損は保証期間内でも有料修理となります。



凍結予防について 寒冷地用の場合（水抜方法）

寒冷地用は寒冷地において配管中の水を抜く設備（水抜栓）とあわせて使用する製品です。凍結のおそれがある場合は、下記の方法で水抜きをしてください。

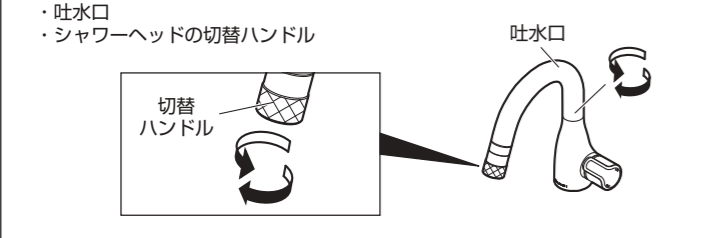
- 1 元栓を開め、配管の水抜栓を開けます。
- 2 レバーを外側にたおし、下側いっぱいに回します。
- 3 シャワーホースを引き出せる位置まで引き出します。
- 4 水抜操作ハンドルを Open 方向に奥まで出し、ホース内の水を抜きます。
- 5 レバーを外側にたおしたまま、上側いっぱいに戻します。
- 6 シャワーヘッドをよく振ります。



定期的な点検 可動部分の点検

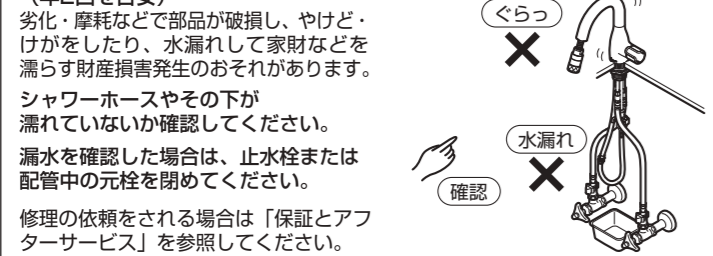
可動部分が固くて動きが悪い場合は、水あか固着や潤滑剤切れです。放置すると故障の原因になりますので、「保証とアフターサービス」を参照し、修理をご依頼ください。

日頃から、ときどき下記可動部分を動かしてください。（月1回を目安）



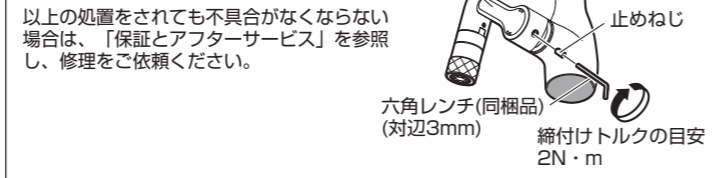
定期的な点検 配管周りの水漏れ・器具のガタツキ

定期的に、配管周りの水漏れ・器具のガタツキがないか確認してください。（年2回を目安）



定期的な点検 レバーのガタツキ

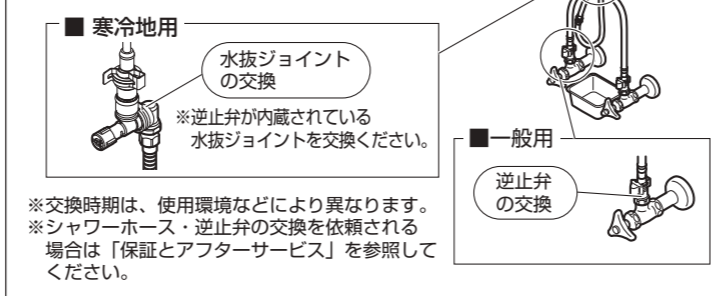
レバーががたつく場合、止めねじがゆるんでいないか、右記の操作を行い確認してください。



定期的な部品交換 シャワーホース・逆止弁の交換時期

逆止弁の交換時期の目安：3～5年
万が一、逆止弁が正常に機能しない場合、状況によっては水栓から一度吐水した水が逆流するおそれがあります。

シャワーホースの交換時期の目安：5年
シャワーホースの劣化により水漏れして、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



こんなときは 故障？ その前に

修理をご依頼される前に、次の表に従って点検してください。

現象	点検項目	処置
流量が少ない	止水栓は開いていますか。	止水栓で流量を調節する。
	ゴミづまりはありませんか。	ストレーナ・吐水口の掃除をする。
高温しかでない	水側の止水栓は開いていますか。	止水栓で流量を調節する。
	給湯機から湯がきていますか。	給湯機の設定温度・作動を確認する。
低温しかでない	湯側の止水栓は開いていますか。	止水栓で流量を調節する。
	湯側・水側の止水栓は開いていますか。	止水栓で流量を調節する。
温度調節がうまくできない	給湯機から湯がきていますか。	給湯機の設定温度・作動を確認する。
	ゴミづまりはありませんか。	ストレーナ・吐水口の掃除をする。
水はねが気になる		止水栓かレバーで水量を調節する。
シャワーヘッドから水滴が落ちる	レバー内側にたおれていますか。	レバーを内側にたおしてください。
	一定時間経過で水滴が落ちなくなりましたか。	シャワーヘッド内の残留水で異常ではありません。
使い始めからしばらくして、レバーの作動が重く（あるいは軽く）感じる		ご使用することで、商品内部の部品がなじんで安定化する現象で、故障ではありません。

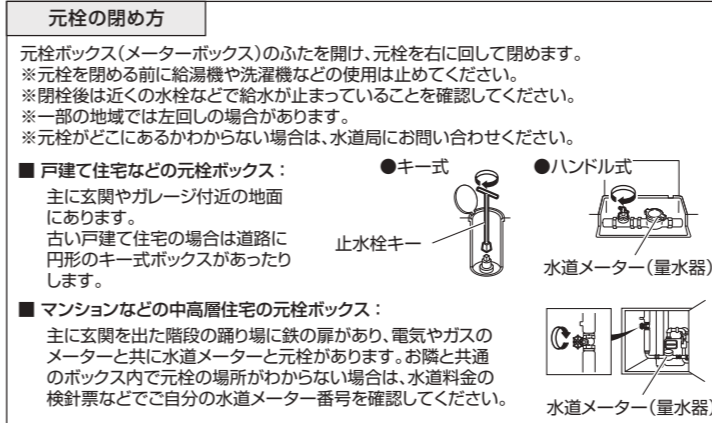
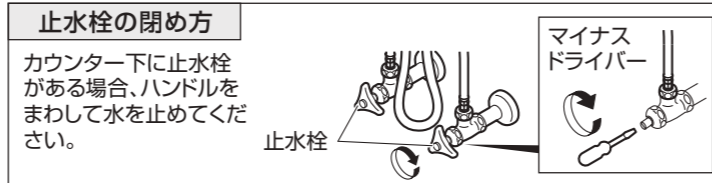
以上の点検を実施されても、不具合がなくなる場合はお手数ですがお買上げの販売店(工事店)に修理をご依頼ください。

●修理される方は次の表に従って点検してください。

現象	点検項目
各接合部及びレバー上部から水が漏れる	老朽化や使用環境により部品の劣化やゴミかみのおそれがあります。各接合部からの水漏れの場合は、水漏れ箇所の部品を交換してください。レバー上部からの水漏れの場合は、シングルレバーカートリッジを交換してください。
止水しても吐水口から水が漏れる	老朽化や使用環境により部品の劣化やゴミかみのおそれがあります。シングルレバーカートリッジを交換してください。

漏水した場合の処置

漏水した場合は、止水栓または配管中の元栓を閉めてください。



保証とアフターサービス

〔保証について〕

- この製品は保証書の内容にしたがって保証されています。お買上げ(お取付け)年月日、販売店(工事店)名が記入してあることを確認してください。
- 保証期間中は保証書の規定にしたがって、修理をさせていただきます。保証期間内でも有料になることがありますので保証書の内容をご確認ください。保証期間は保証書を確認してください。
- 保証期間を過ぎていても修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

〔水栓の定期的な点検・部品交換について〕

水栓の性能を維持するために定期的な点検・部品交換が必要です。摩耗劣化部品は、5年を交換の目安としておりますが、逆止弁については、より安全を考え、早め(3～5年)の点検・交換をおすすめします。(交換時期は、使用環境などにより異なります。)

定期点検・部品交換											
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
お客様による日常のお手入れ・点検											買替え ご検討
摩耗劣化部品の交換											

方法については、「日頃のお手入れ」・「定期的な点検」を参照してください。

摩耗劣化部品とは、日頃使用する度に摺動する、または摩耗及び劣化しやすい部品のことです。
摩耗劣化部品の例：シングルカートリッジ 逆止弁・シャワーホース など

部品が摩耗劣化すると操作性低下、機能障害、劣化物流出や水漏れなどの原因になりますので、交換が必要です。

〔補修用部品の供給期間〕

この製品の補修用部品(機能維持のために必要な部品であり、使用期間中に取替える可能性が高いもの)の供給期間は製造中止後10年です。

〔修理の依頼と部品交換の依頼について〕

- 修理依頼と部品交換依頼先：お求めの販売店(工事店)又は当社
- 連絡していただきたい内容：
 - 住所、氏名、電話番号
 - 品番、品名
 - お買上げ(お取付け)年月日
 - 故障内容、異常の状況(水漏れ箇所の説明など)、部品交換の依頼
 - 訪問希望日

●当社の修理および部品交換料金は「技術料」+「部品代」+「出張料」で構成されています。

「技術料」
診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用。
「部品代」
修理および部品交換に使用した部品代。
(無料修理で交換した古い部品・製品は当社の所有になります。)
「出張料」
製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用。

〔部品のご購入や修理の依頼、ご相談は〕

- まずは、お求めの販売店(工事店)へご相談ください。ご不明な場合は当社までお問い合わせください。

水栓金具保証書

本書は、本書記載内容で無料修理させていただく事をお約束するものです。保証期間中に故障が発生した場合は、お買上げの販売店(工事店)にご依頼いただき、出張修理に際して本書をご提示ください。
お買上げ(お取付け)年月日、お客様名、販売店(工事店)名など記入もれがありますと無効となります。必ずご確認ください、記入のない場合はお買上げ(お取付け)の販売店(工事店)に申し出ていただくか、レシート又は領収書を貼付してください。
本書は再発行いたしません。大切に保管してください。

品番	品番は製品本体に貼っているシールをご確認ください。	
保証期間	対象部品	期間(お買上げ日/お取付け日から)
	本体	2年間
お買上げ日(お取付け日)	年 月 日	
お客様	お名前	様
	ご住所	見本
	電話	()
販売店 工事店	店名	住所
	電話	()

<無料修理規定>

ご依頼の前に再度、取扱説明書をお読みいただきご確認ください。

1. 「取扱説明書」、「ラベル」などの注意書に従った正常な使用、維持管理状態で、保証期間中に故障した場合、無料修理いたします。
2. ご転居、ご贈答品などで本保証書に記入の販売店(工事店)に修理を依頼できない場合は当社にご相談ください。
3. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (1) 使用、維持管理上の誤り及び不当な修理、改造による故障及び損傷
 - (2) 温泉水、中水、飲用不可な井戸水による故障及び損傷
 - (3) お買上げ(お取付け)後の取付場所の移動及びそれに伴う落下などによる故障及び損傷
 - (4) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害など、その他の事故及び損傷の原因が製品以外にある場合
 - (5) 電気製品における異常電圧、指定外の使用電源(電圧・周波数)及び外部ノイズなどに起因する不具合
 - (6) 消耗部品の劣化に伴う故障及び損傷
 - (7) 施工説明書などに基づかない施工、専門業者以外による移動・分解・改造などに起因する不具合
 - (8) 建築躯体の変形(強度不足・ゆがみ)など製品以外の不具合に起因する製品の不具合及び表面仕上げ、色あせなどの経年変化又は使用に伴う摩耗などにより生じる外観上の不具合
 - (9) 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合
 - (10) ねずみ、昆虫などの動物の行為に起因する不具合
 - (11) 砂やごみ、給水・給湯配管の錆など異物流入及び水あかの固着に起因する不具合
 - (12) 寒冷地仕様製品の製品で水抜きをされなかった場合や、寒冷地仕様でない製品の場合の凍結による故障及び損傷
 - (13) 本書の提示がない場合
 - (14) 本書にお買上げ(お取付け)年月日、お客様名、販売店(工事店)名の記載がない場合、あるいは字句の書き換えられた場合
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
★この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などにつきましてはお買上げの販売店(工事店)、または当社にお問い合わせください。
★補修用部品の保有期間についてご不明の場合は下記へお問い合わせください。

SANEI 株式会社

〒537-0023 大阪市東成区玉津1丁目12番29号

お問い合わせ先 ☎ 0120-06-9721
受付時間 9:00～17:00 (土日祝除く)

ホームページ www.sanei.td